

全数報告の感染症

- 1 類感染症: 報告なし
- 2 類感染症: 細菌性赤痢 6 例(感染地域:千葉県 2 例、国内(都道府県不明)1 例、インド 1 例、インドネシア 1 例、エジプト 1 例)、腸チフス 1 例(感染地域:インド)
- 3 類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 26 例(うち有症者 17 例、HUS 1 例)[感染地域:すべて国内 国内の多い感染地:愛知県 5 例 年齢群:10 歳未満(7 例)、10 代(4 例)、20 代(4 例)、30 代(2 例)、40 代(1 例)、50 代(6 例)、60 代(1 例)、70 歳以上(1 例) 血清型・毒素型:O157 VT1・VT2(13 例)、O26 VT1(5 例)、O157 VT2(3 例)、O157 VT1(2 例)、その他/不明(3 例)]
- 4 類感染症: E 型肝炎 1 例(感染地域:和歌山/中国/韓国、感染源:豚肉/牛肉)、A 型肝炎 1 例(感染地域:岩手県)、つづが虫病 10 例(感染地域:鹿児島県 3 例、千葉県 2 例、兵庫県 2 例、茨城県 1 例、岐阜県 1 例、和歌山県 1 例)、デング熱 2 例(感染地域:フィリピン 1 例、サモア 1 例)、マラリア 1 例(熱帯熱__感染地域:セネガル)、レジオネラ症 7 例(肺炎型 6 例、無症状病原体保有者 1 例)[年齢群:50 代 2 例、60 代 2 例、70 代 3 例 感染地域:北海道 2 例、新潟県 1 例(温泉)、長野県 1 例、鹿児島県 1 例、国内(都道府県不明)1 例、国内・国外不明 1 例]
- 5 類感染症: アメーバ赤痢 14 例(腸管アメーバ症 12 例、腸管外アメーバ症 2 例)[感染地域:国内 11 例、台湾 1 例、キルギス 1 例、国外(国不明)1 例 感染経路:経口 2 例、性的接触 3 例(異性間 2 例、同性間 1 例)、経口/性的接触(異性間)1 例、不明 8 例]、ウイルス性肝炎 1 例(B 型__感染経路:性的接触(異性間))、急性脳炎 1 例(病原体不明、9 歳)、クロイツフェルト・ヤコブ病 4 例(孤発性プリオン病古典型 3 例、感染性プリオン病医原性 1 例)、後天性免疫不全症候群 11 例(無症候 8 例、AIDS 3 例)[感染地域:国内 9 例、国外(国不明)1 例、国内・国外不明 1 例 感染経路:すべて性的接触(異性間 5 例、同性間 5 例、異性間/同性間 1 例)]、ジアルジア症 2 例(感染地域:国内 1 例、インド 1 例)、梅毒 4 例(早期顕症 I 期 2 例、早期顕症 II 期 1 例、無症候 1 例)、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 3 例(遺伝子型:VanA 1 例__菌検出検体:尿、遺伝子型:VanC 1 例__菌検出検体:胆汁、遺伝子型:不明 1 例__菌検出検体:血液)

定点把握の対象となる 5 類感染症 (週報対象のもの)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第 43 週以降、増加が続いている。都道府県別では宮崎県(4.3)、岐阜県(2.3)、大分県(2.2)、広島県(1.1)、愛知県(1.1)が多い。

小児科定点報告疾患: RS ウイルス感染症は 3,977 例の報告があり、報告数は増加した。年齢別では、1 歳以下の報告数が全体の 73%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少したが、過去 5 年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では山形県(3.2)、北海道(1.7)、富山県(1.5)、石川県(1.4)、秋田県(1.4)が多い。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は 2 週連続して減少したが、過去 5 年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では富山県(4.0)、鳥取県(4.0)、北海道(3.9)、新潟県(3.9)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は 2 週連続で減少した。都道府県別では福井県(23.1)、高知県(20.5)、宮城県(19.9)、福島県(19.4)が多い。水痘の定点当たり報告数は増加し、過去 5 年間の同時期と比較してもやや多い。都道府県別では大分県(6.4)、島根県(5.5)、福井県(5.5)、山形県(5.0)が多い。手足口病の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では大分県(2.0)、山形県(1.6)、佐賀県(1.4)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は第 47 週以降、増加が続いており、過去 5 年間の同時期と比較してもかなり多い。都道府県別では富山県(1.17)、宮城県(1.13)、岩手県(0.90)、北海道(0.87)が多い。百日咳の定点当たり報告数は微増した。都道府県別では栃木県(0.09)、愛媛県(0.05)、千葉県(0.04)が多い。風しんの定点当たり報告数は増加した。都道府県別では沖縄県(0.03)、長野県(0.02)が多い。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少した。都道府県別では宮城県(0.13)、熊本県(0.13)が多い。麻しんの定点当たり報告数は減少した。都道府県別では埼玉県(0.03)、新潟県(0.02)が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は第 49 週以降、減少が続いている。都道府県別では新潟県(3.0)、宮崎県(2.5)、岩手県(2.4)が多い。

基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では沖縄県(3.3)、大阪府(2.4)、青森県(1.7)が多い。成人麻しんは埼玉県から 1 例の報告があった。

	小児科定点													眼科定点		基幹定点								
	1)	RS ウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌頭炎	A 群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん	2)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	3)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	4)	クラミジア肺炎	成人麻しん
(定点当たり)																								
愛媛県	.0	.8	.3	3.0	17.5	4.1	.4	.6	.9	.1		.0		1.1		1.8				.8				
近畿	香川県	1.7	.2	1.3	6.9	3.6	.0	.3	.5					.5		.7								
	徳島県	.9	.5	1.8	7.7	1.3	.1	.2	.9					.5		.3								
	高知県	.0	.6	.2	1.8	20.5	3.0	.2	.1	.5	.0		.1		1.5		1.0			.1	.9			
全国	.3	1.4	.6	1.9	11.3	3.0	.4	.5	.6	.0	.0	.0	.0	.8	.0	.6	.0	.0	.0	.5	.0	.0	.0	
北海道	.4	1.3	1.7	3.9	5.6	3.5	.2	.9	.4					.8		.7								
東北	.1	1.2	1.0	2.0	14.4	3.5	.4	.6	.6	.0		.1		1.5		.7	.0		.8					
関東	.1	1.0	.3	1.7	11.9	2.7	.3	.5	.5	.0	.0	.0	.0	.5	.0	.8				.5	.0	.0	.0	
甲信越北陸	.1	.9	.8	2.9	15.5	2.8	.4	.5	.6					.0	.4	.7			.0	.5				
東海	.9	1.4	.6	1.7	9.2	2.6	.4	.7	.6	.0	.0	.0	.0	.8	.0	.2	.1	.1	.9					
近畿	.2	1.5	.3	1.4	9.6	2.8	.3	.4	.5	.0	.0	.0		.9		.5	.0	.0	.6	.0			.0	
中国四国	.3	2.2	.5	2.2	12.4	2.9	.2	.3	.6	.0	.0	.0		.7	.0	.7	.0	.0	.4					
九州沖縄	.7	1.5	.6	1.8	11.1	3.8	1.0	.2	.7	.0	.0	.1		1.0	.0	.8	.0	.0	.4					

1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病は除く。(1月9日集計) 愛媛県基幹感染症情報センター

全国 全数把握感染症 第52週 (2006.12.25 ~ 12.31)

類 型	二類感染症				三類	四類感染症															五類感染症																										
	疾病名	(2)コレラ	(3)細菌性赤痢	(5)腸チフス		(6)パラチフス	(1)腸管出血性大腸菌感染症	(1)E型肝炎	(2)ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	(3)A型肝炎	(4)エキノコックス症	(6)オウム病	(8)Q熱	(9)狂犬病	(11)コクシジオイデス症	(15)つつが虫病	(16)デング熱	(18)日本紅斑熱	(19)日本脳炎	(22)ブルセラ症	(23)発しんチフス	(24)ポツリヌス症	(25)マラリア	(26)野兔病	(27)ライム病	(29)レジオネラ症	(30)レプトスピラ症	(1)アメーバ赤痢	(2)ウイルス性肝炎 (E型及びA型肝炎を除く)	(3)急性脳炎	(4)クリプトスポリジウム症	(5)クロイツフェルト・ヤコブ病	(6)劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7)後天性免疫不全症候群	(8)ジアルジア症	(9)髄膜炎菌性髄膜炎	(10)先天性風しん症候群	(11)梅毒	(12)破傷風	(13)黄色ブドウ球菌感染症	(14)バンコマイシン耐性腸球菌感染症						
第52週報告数	全 国		6	1		26	1		1						10	2						1				7		14	1	1		4		11	2			4			3						
	四 国	愛 媛 県																																													
		香 川 県					1																																								
		徳 島 県																																													
		高 知 県																																													
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道																									2																				
		東 北 関 東															1												1																		
		甲 信 越 北 陸																											1																		
		東 海 近 畿																												1																	
		中 国 四 国																																													
九 州 沖 縄																																															
週 推 移	全 国																																														
	52週			6	1		26	1								10	2											14	1	1		4		11	2					4							
	51週			5			32																					4	1			1	1	9						6	1						
	50週			8			49	3								14	1											4	1			1	1	13							7	1					
49週			3	2	1	39									20												8				2	3	10							10	2				1		
2006年累積数	全 国	47	483	72	24	3910	70		316	20	22	2	2	2	397	57	45	7	5		2	61			13	508	24	738	275	160	14	177	107	1301	87	14		625	115			79					
	四 国	愛 媛 県		6	2		16			4						2											2	5	4	1	1	3		7					4	2							
		香 川 県					21			1		3	2														3	4		1		1	4							12							
		徳 島 県					49			1																			5			1								4	1						
		高 知 県		2	1		3			4						6		3	1									2	5	1				3						28	1						
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道		2	3		83	19		13	19					1										3	24		25	4	8	3	9	8	27	1					9	6			4		
		東 北 関 東	2	18			371	2		11		3				138											1	4		28	20	8		7	4	36				2		44	3		5		
		甲 信 越 北 陸	7	36	3	2	304	7		25		1				50	3									2	79	2	17	21	13	1	22	5	54	3	1				26	7			5		
		東 海 近 畿	5	41	9	3	462	6		38	1	2				35	8	2								3	77		84	31	19		21	15	170	5	1				75	8			11		
		中 国 四 国	5	16	3		415	3		41		3	2			28	1	16	2										35	31	19	1	19	7	42	4					69	16			4		
九 州 沖 縄		4	42	4		795	6		27						73	5	18	5										38	26	18		21	5	63	8	3				124	32			5			

・医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。

(2007.1.9集計)